



令和4年度

多北高 FRH 通信 第23号

令和4年12月22日(木)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

中部大学工学部との連携講座 「生体工学への誘い」

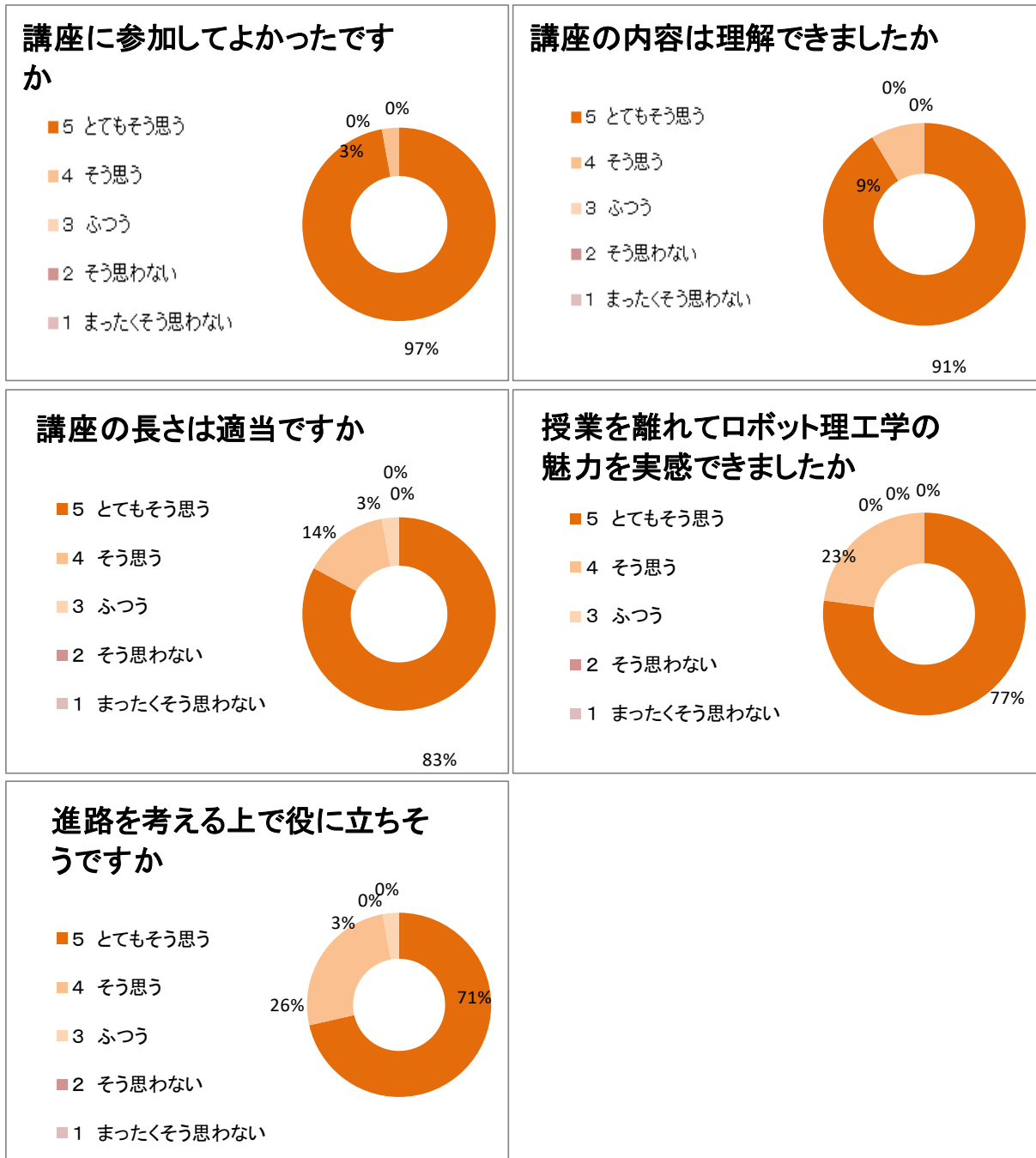
12月10日(土)に、中部大学との連携事業を行いました。我々の脳は、眼、耳、皮膚などの感覚器から送られてきた情報を組み立てることで周囲の状況を認識しています。さらに、筋肉などの運動器へ指令を出して体を動かしたり、物事を記憶したりするといった高度な活動も行っています。今回の講座では、そういった脳の情報処理、特に、運動の学習と記憶に関わる情報処理を理解し、工学、医療等へ応用することを目指して研究をされていらっしゃる中部大学工学部ロボット理工学科教授の平田豊先生に、講義と実習を行っていただきました。

参加生徒の感想

- 「見ているもの・ことが正しいとは限らない」、「同じものを見て・聞いていても、他の人と異なるように知覚している可能性がある」というのは、本当に不思議だなと思いました。また「ロボットはプログラム通りにしか動かない、失敗から学んで次に活かさない」というのは、人間とロボットの差であり、もしロボットが人知を超えてしまったら恐ろしいと思いました。
- 今までロボット工学という分野すら知らなかったけれど、今回の講座を受講して、とても面白い分野だと感じ興味を持ってました。実際に映像を見たり、実験をしたりして、脳には不思議な学習能力があるのだと実感できて楽しかった。自分の目に見えるものだけが正しいのではないし、人それぞれ見え方、感じ方が違っているのだと分かりました。
- 今回のような運動能力の学習が、ロボット工学につながっていると思うと、なんだか不思議だ。今学校で学んでいることや、自分が興味を持っていることがどんな分野、学問につながっているかなんて、本当に分からないなと思った。また、多くのデータを集めてそれを分析するという実験の醍醐味を、小学校の夏休み自由研究以来久しぶりに味わうことができ、とても楽しかった。
- 大学の施設がどんなものかを見ることができて、良かったです。こんなにも設備が充実しているのかと思った一方、その分本人の意欲で左右されるのかなと思いました。講義は題材がすごく面白く、先生のお話も専門性を感じさせつつ分かりやすく、勉強になることばかりでした。実験では、実験方法や実験上の注意などに、科学の数学的な考え方や厳密さを感じられ、とても面白かったです。

参事後アンケートのまとめ

参加生徒数 1年生21名 2年生14名 (計35名)



講座の様子

